



令和2年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年3月13日

上場会社名 株式会社ティビィシー・スキヤット 上場取引所 東  
 コード番号 3974 URL <http://www.tbcsat.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 茂幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 森 信文 (TEL) 03(5623)9670  
 四半期報告書提出予定日 令和2年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年10月期第1四半期の連結業績(令和元年11月1日～令和2年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年10月期第1四半期	669	16.0	40	—	40	—	24	—
元年10月期第1四半期	577	△8.7	△8	—	△8	—	△9	—

(注) 包括利益 2年10月期第1四半期 24百万円(—%) 元年10月期第1四半期 △9百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年10月期第1四半期	16.80	—
元年10月期第1四半期	△6.68	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年10月期第1四半期	3,384	2,146	63.4
元年10月期	3,474	2,159	62.2

(参考) 自己資本 2年10月期第1四半期 2,146百万円 元年10月期 2,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年10月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2年10月期	—	—	—	—	—
2年10月期(予想)	—	0.00	—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年10月期の連結業績予想(令和元年11月1日～令和2年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,371	7.0	100	46.7	99	45.6	60	34.0	41.69
通期	2,783	0.6	223	△6.7	223	△7.4	139	△13.0	96.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2年10月期1Q	1,820,000株	元年10月期	1,820,000株
2年10月期1Q	375,104株	元年10月期	375,104株
2年10月期1Q	1,444,896株	元年10月期1Q	1,444,936株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げ等に伴う消費への影響が、政府の各種消費対策にも拘らず、政府見通しを大きく下回る消費の減速を招いております。

このような状況のもと、当社グループは、新しい成長戦略への移行をテーマに掲げ、ユーザー紹介とWEBマーケティング強化で新規顧客の獲得を強化し、課金型ストックビジネスの推進による収益の安定性の確保に取り組んでおります。

主力の美容サロン向けICT事業では、消費増税の駆け込み需要の反動による需要減を見通しておりましたが、楽天スーパーポイントも加わった課金型ビジネスが順調で、当初見通しを大きく上回る売上げとなりました。また、システム販売も買換え、新規とも見通し通りとなっております。なお、ソフトウェア開発受託ビジネスにおいて、一部契約で当初の開発工数を上回る見通しとなり受注損失引当てとして費用計上いたしました。

中小企業向けビジネスサービス事業では、地方の中小企業の疲弊は見通しを超えて進んでおり、従来の対象市場は年々先細りとなっております。売上・利益とも当初見通しを下回る結果となりました。一方、リスクマネジメントや事業承継に係るソリューションビジネスは伸びてきており、新たな市場開拓に注力しております。

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームの高い入居率により堅調な売上げを維持しております。人手不足による労務費増、経年劣化による建物・構築物の修繕費が増加しましたが、利益は見通しを若干上回っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高669,784千円（前年同四半期比16.0%の増加）営業利益40,403千円（前年同四半期は8,903千円の損失）、経常利益40,043千円（前年同四半期は8,598千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益24,267千円（前年同四半期は9,651千円の損失）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益に基づいております。

#### ① 美容サロン向けICT事業

美容サロン向けICT事業では、12月から1月にかけて美容サロンの繁忙期であるため、販売が伸びない傾向にあります。また、令和元年10月に施行された消費増税、軽減税率対応の反動による影響を考慮しておりましたが、当初予想に反しリプレース（買替え）を中心に販売台数が好調を維持し、前年同四半期に比べ約30%増となりました。また、課金型ストックビジネス売上は、楽天スーパーポイント連携の拡充、予約システムや「サロンアプリ」等のWEBコンテンツ収入が安定し、前年同四半期と比べ約20%増となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は395,949千円（前年同四半期比28.7%の増加）、セグメント利益は26,302千円（前年同四半期は26,022千円の損失）となりました。

#### ② 中小企業向けビジネスサービス事業

中小企業向けビジネスサービス事業では、中小企業への会計サービスや業務請負は、既存客の廃業や事業の縮小、消費増税後の地域経済の停滞感もあり、前年同四半期比では減収となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は76,036千円（前年同四半期比7.5%の減少）、セグメント損失は5,024千円（前年同四半期は704千円の利益）となりました。

#### ③ 介護サービス事業

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームを3施設（栃木県佐野市、群馬県館林市、長野県小諸市）運営しております。地域密着型の施設運営により施設稼働率は高水準を維持し、安定した収益の確保により売上・利益ともに前年同四半期を上回っております。また、健常者を対象とした予防サービス（地方自治体の委託事業である健康推進事業）の実施などにより入居待機者も増え、更なる収益の安定化につながっています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は192,632千円（前年同四半期比5.7%の増加）、セグメント利益は15,236千円（前年同四半期比19.2%の増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ73,039千円減少し、1,694,710千円となりました。これは主として、現金及び預金の減少128,142千円、売掛金の増加33,073千円、仕掛品の増加10,862千円によるものであります。

### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ17,070千円減少し、1,689,796千円となりました。これは主として、繰延税金資産の減少12,147千円によるものであります。

### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ68,255千円減少し、393,701千円となりました。これは主として、未払法人税等の減少54,718千円によるものであります。

### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ8,554千円減少し、844,217千円となりました。これは主として、長期借入金の減少15,420千円、退職給付に係る負債の増加7,757千円によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ13,299千円減少し、2,146,587千円となりました。これは主として、利益剰余金の減少13,299千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和元年12月12日付け公表の令和2年10月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,492,832	1,364,689
売掛金	188,953	222,026
商品	25,340	32,498
仕掛品	32,926	43,789
その他	28,044	32,191
貸倒引当金	△348	△485
流動資産合計	1,767,749	1,694,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,883,154	1,883,154
減価償却累計額	△1,004,085	△1,012,701
建物及び構築物(純額)	879,069	870,452
土地	342,737	342,737
その他	156,403	162,146
減価償却累計額	△124,913	△127,647
その他(純額)	31,489	34,498
有形固定資産合計	1,253,296	1,247,688
無形固定資産		
ソフトウェア	87,001	73,288
のれん	96,329	92,624
その他	63,564	82,648
無形固定資産合計	246,895	248,561
投資その他の資産		
繰延税金資産	156,117	143,969
その他	67,566	66,518
貸倒引当金	△17,008	△16,942
投資その他の資産合計	206,675	193,545
固定資産合計	1,706,866	1,689,796
資産合計	3,474,616	3,384,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	42,423	54,226
1年内返済予定の長期借入金	61,680	61,680
未払費用	118,048	109,345
賞与引当金	82,584	34,662
未払法人税等	61,074	6,355
その他	96,145	127,432
流動負債合計	461,957	393,701
固定負債		
長期借入金	425,240	409,820
役員退職慰労引当金	41,315	41,315
退職給付に係る負債	351,839	359,597
その他	34,376	33,485
固定負債合計	852,771	844,217
負債合計	1,314,728	1,237,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	277,158	277,158
利益剰余金	1,870,350	1,857,050
自己株式	△187,622	△187,622
株主資本合計	2,159,887	2,146,587
純資産合計	2,159,887	2,146,587
負債純資産合計	3,474,616	3,384,506

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年11月1日 至平成31年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和元年11月1日 至令和2年1月31日)
売上高	577,197	669,784
売上原価	349,321	392,808
売上総利益	227,875	276,976
販売費及び一般管理費	236,779	236,573
営業利益又は営業損失(△)	△8,903	40,403
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	0
施設利用料	424	430
助成金収入	412	—
その他	283	146
営業外収益合計	1,133	577
営業外費用		
支払利息	815	722
その他	12	215
営業外費用合計	827	938
経常利益又は経常損失(△)	△8,598	40,043
特別利益		
その他	53	—
特別利益合計	53	—
特別損失		
固定資産除却損	541	—
特別損失合計	541	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,086	40,043
法人税、住民税及び事業税	3,186	3,628
法人税等調整額	△2,620	12,147
法人税等合計	565	15,776
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,651	24,267
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,651	24,267

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年11月1日 至平成31年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和元年11月1日 至令和2年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,651	24,267
四半期包括利益	△9,651	24,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,651	24,267

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成30年11月1日 至平成31年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	美容サロン向け ICT事業	中小企業向け ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	307,652	82,184	182,191	572,029	5,168	577,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	840	840
計	307,652	82,184	182,191	572,029	6,008	578,037
セグメント利益又は損失(△)	△26,022	704	12,787	△12,530	3,617	△8,913

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△12,530
「その他」の区分の利益	3,617
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△8,903

当第1四半期連結累計期間(自 令和元年11月1日 至 令和2年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	美容サロン向け ICT事業	中小企業向け ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	395,949	76,036	192,632	664,619	5,165	669,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	840	840
計	395,949	76,036	192,632	664,619	6,005	670,624
セグメント利益又は損失(△)	26,302	△5,024	15,236	36,514	3,881	40,395

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	36,514
「その他」の区分の利益	3,881
セグメント間取引消去	8
四半期連結損益計算書の営業利益	40,403